

## 令和6年度 文化幼稚園 教員による自己評価について

令和6年度の当園の教員による自己評価をご報告いたします。

評価方法は4:とても思う、3:まずまずと思う、2:あまり思わない、1:全く思わない の4点法で行ないました。評価内容については教育の理解・環境の構成・教育内容の計画・保育のあり方・対応などを16項目に分け、それを更に81の評価項目に分類しました。全体を通しての平均点は3.5になりました。主だったものを下の表にまとめましたが、各分類の中での内容から評価点の一番高いものと低い内容について記載しています。

No.	評価分類	評価内容	平均評価
1	園の教育理念・教育方針の理解	園の教育理念や教育方針を理解している。	3.4
		園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。	3.2
2	環境の構成	幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している。	3.2
		安全で清潔感のある環境構成をしている。	3.1
3	健康と安全への配慮	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境や言葉がけを行なっている。	3.7
		流行性、感染症疾患等の防止に常に配慮し、換気、室温管理等を行っている。	3.4
4	幼児のみとりと理解	幼児が今、興味や関心をもっていることがわかる。	3.4
		幼児同士のかかわりの姿を捉えている。	3.1
5	指導計画	指導計画の内容・ねらいが適切であったか評価・反省し、次の保育につなげている。	3.3
		地域の自然や文化施設・行事を指導計画に位置づけている。	2.9
6	保育のあり方と 幼児への対応	常に保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がけている。	3.6
		幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけている。	3.0
7	保護者との情報交換	幼児の様子を適時に知らせている。	3.3
		クラスで取り組んでいる活動のポイントについて知らせている。	3.0
8	専門性に関する研修や 研究	自分の保育について課題をもって計画と反省を行なっている。	3.4
		指導計画の作成、記録の取り方、考察の仕方を見直し研究している。	2.7
9	今日的課題	幼小連携など就学を見通した保育についてや、あり方について学習している。	3.2
		園児数減少等の今日的課題に関心をもち、選ばれ続ける園となるために自分としてできることを常に考えている。	2.8

評価項目が多岐にわたっており、すべてについての記載はできませんが、自己評価の結果により、教員一人一人が問題点を的確に把握できるほか、園全体として今後の教育方針の参考としています。今年度は、前年度と同様のポイントとなりましたが、これに甘んじることなく、今一度、教員一人一人が日々の保育を振り返り、教員としての自覚をもち、資質を高めていけるような取り組みをしたいと思っています。また、ポイントの下がった項目については、今一度、幼児教育専門職としての責務を自覚し、研修を含め研鑽に努めたいと思います。今後も改善内容を重点的に精査し努力するとともに、「魅力ある園づくり」を目指し、幼稚園全体の教育水準の向上と充実に向けて参りますので、これからもよろしくお願ひいたします。以上、教員による自己評価の結果報告といたします。